

「恥ずかしくはないか?と、いつもいつも価値判断倫理基準にして暮らしています。

当たり前のように降り注ぐ困難や社会の理不尽な試練との遭遇にも母校の旗を抱いてさえいれば、しぶとく闘って行っています。

羽咋高校の卒業生である事へ感謝!!

ふるさと羽咋高校よ永久に! 万歳!!

昨年の総会では、永年の懸案だった応援団長として山川、岡野、吉田、節美さん達 諸先輩の協力を得ながら、役目を果たせました。今年もまた頑張るぞ!!



### 困ったら帰省していた昔 これからはご縁を大切に 郷土愛…同窓会活用 上田 寛 高55 羽咋・四柳

1984年生まれの上田と申します。羽咋高校を卒業後は1年の浪人生活を経て大阪芸術大学へ。芸大では環境デザイン学科でアーバンデザインを専攻、環境と建築の両方を学び就職。

社会人スタートは関東で、大学卒業から10年間建設業の会社で働いています。入社4年間は設備のメンテナンス部門、5年目からは建築士として設計監理部門で色々と経験させていただいています。

建設業界は3K職場の代表と呼ばれており、まさに「きつい・汚い・危険」な環境下で仕事をしていて、入社当時は何度も辞めたいと思っていました。でも、そんな時支えになってくれたのは、羽咋高校の同級生の存在です。当時、関東に友達と呼べる人も少ないので、休める時はよく帰省し、その同級生と会って色々話したことを思い出します。その同級生とは今も帰省する時必ず会う大切な友人です。

ここ数年、自身の郷土愛が増ってきていて、地元の為に何かできないかと考えることが増えました。そう考えていたときに関東同窓会へのお誘いがあり、こうして会報への寄稿をさせていただいています。

今年で34歳になりますが、いろいろなお縁に恵まれてここまでやってこられたと感じています。これからも、縁を大切に、楽しく生きていきたいと思ひます。



### 「思い出」 …桜月夜

(旧姓：若狭)

川村 和美 高19 羽咋・旭

高校入学間もない頃、現代国語で

清水へ 祇園をよぎる 桜月夜

こよひ逢うひと みなうつくし

の短歌に出会いました。袴姿のK先生が、教壇からちよこんと降りられ、よく透る声での授業でした。薄暗い教室は、夜桜の下をそぞろ歩きしているような祇園の通りになったのでした。幼い頃、羽咋川の夜桜を家族と見たことと重なったのかもしれない。

歌の意味からそれ、ぼんぼりの灯が桜月夜にだぶり歌のときめきが懐かしい思い出となり心に残る歌となりました。与謝野晶子の歌集を手にもすることもなく、勝手な思い込みですが、近所の夜桜に、ぼんぼりの灯がともると、口ずさんでしまいます。展覧会でも、特に夜桜を描いたものに出会うと長く見入ってしまいます。

私の思い出の一つです。



### 羽咋高校 親衛隊 何処へ…

北嶋 克悦 高31 羽咋・吉崎

羽咋高校卒業後に上京して何年になったろうか? 羽高在学3年間の当時は、当たり前の日常風景だったので…。鈍感な自分に一寸情け無さを感じて反省しきりです。

この年になって、やっとやっと、羽咋高校って、我等のルーツ、誠心魂の核心、だったんだな〜と、今更に確信している様なんです。商売をやりながら第二のふるさとと定めて地域に溶け込んで行けるようにと様々な活動にも参画しています。

業界関係に始まり、商店会、町内会自治会、消防団、防犯協会、防犯ステーション、劇団、学校運営協議会、地域防災拠点、公園愛護会、その他ボランティアなんかにも携わってきていますが、母校とふるさとに対して



老 社 青! 大切な青年隊を担って…

# 卒業50周年記念同窓会

緑 忠夫(高19)

高松・若緑

高校卒業50周年を記念して、平成29年10月22、23日、和倉温泉「美湾荘」に於いて、同窓会を実施しました。

当日の出席者は、男性 49名、女性39名、総勢88名の参加で盛大に行われました。物故者が一割弱いるにも係わらず、出席率は20%弱になり、この種の会合としては極めて高い出席率だったと思います。卒業後50年の節目で古希を迎えて、今回が同期のみなさんとお会いできる最後の機会と思つて参加された方も多かったと思います。

当日の式次第は、副代表幹事の中江映さんの司会のもと、まず物故者に対して全員で黙祷を捧げました。その後、代表幹事の橋中義憲さんの挨拶があり、以下余興が続く中、各テーブルでの同期生の歓談が弾みました。



和倉温泉「美湾荘」に第19回生が88名が集合

今回は三年生の時のクラス単位のテーブルだった為、各自の在学時の思い出話、近況等の会話が盛り上がりました。個人的には、50年振りに再会した方が多く、互いに外観、体形の変わり様に驚きました。一次会が終わった後、同じテーブルのメンバー全員で、男性の宿泊室で12時頃まで雑談に興じました。一気に高校時代にフィードバックした様な錯覚に陥りました。

同窓会の一か月前、中央ヨーロッパを旅行し、同窓会の一週間後イタリヤ旅行が控えていた為、同窓会の出欠について迷いましたが、結果的には、みなさんにお会いできて大変良かったと思えます。

最後に、こうした機会を企画していただいた役員の方々に改めて御礼を申し上げます。



草加光陽育成会 顧問

秋山 恵美子様 (高14)

(旧姓：渡瀬) 羽咋・上中山

## 「全国社会福祉大会」

### 全社協会長賞

### と受賞

表彰状  
秋山恵美子様  
全国社会福祉大会  
全社協会長賞  
受賞  
平成29年10月22日  
全国社会福祉大会  
実行委員会  
代表理事 藤田 隆



半世紀前に埼玉県草加市で知的障害児・親の会・つぼみ会(現、草加光陽育成会)を、7名のお母さんと立上げられ、地元の八幡小学校・青柳中学校に障害児学級の設置に尽力。卒業後進路先が見つからない在宅者が出ると、デイケア施設の建設に自ら委員長として努め「青柳太陽の家」を設立。同13年「希望の家」を設立。常に先頭を走って来られました。

同18年、地主との協力信頼関係を築き、社会福祉法人として認可される。同20年草加市内では最初のグループホーム「光輪の家」が完成。理事長として、市内にある無認可8施設を事業統合し、運営するに至ります。その後も、数々の福祉事業推進に輝かしい功績をあげられてこられました。

そしてこの度、表題の受賞となりました。誠にありがとうございます。



昨年の金婚式にて